

日本スクールソーシャルワーク協会秋季研修会

午前の部

子どもの権利に基づく 一時保護所の在り方を考える



子どもの最善の利益を保障するための一時保護とは
どうあるべきか、課題と先駆的な取り組み

講師

江戸川区子ども家庭部 一時保護所開設準備担当課
課長 茂木 健司 氏

現在日本の児童虐待対応の仕組みは、児童相談所により、保護者の下では子どもの安全確保が難しいと判断されると、子どもは一時保護されることとなります。しかし、子どもが傷つき今まで住み慣れた“家”を離れ安心して心身を癒せる場にはなっていない現状があるとの指摘もあります。一時保護所の抱える問題に長年携わってきた茂木氏よりその現状と理想を目指した取り組みについてご報告いただきます。子どもの最善を目指した保護の在り方とはどうあるべきか、フロアの皆様からもご意見をいただきながら、共に考える場とします。

日時：2019年10月6日（日） 10:00～12:00（受付9:30より）

場所：埼玉会館 ラウンジ 浦和駅下車西口より徒歩6分
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4

《講師ご紹介》埼玉県入庁後、1980年から2017年まで児童相談所にて児童福祉司、児童指導員、虐待対応担当課長、保護担当課長、保護担当部長、心理・相談援助、家族支援担当部長を歴任。長く児童相談所各部門に勤務。退職後、大学勤務を経て2019年4月から現職。2020年江戸川区児童相談所の開設準備に当たっている。2012年全国児童相談所一時保護所研究会を設立し代表。また、今年度は、特別区一時保護所派遣職員連絡会をスタートさせ、定期的な学習会を主宰。著書として「子どもの暴力対応実践マニュアル」（共著：建帛社）、「児童相談所一時保護所の子どもと支援」（共著：明石書店）、「里親制度か施設養護かの対立軸を超えて」（共著：明石書店）。ほか、日本子ども虐待防止学会では毎年、一時保護所問題のシンポジウムを企画している。



主催：特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会
<http://www.sswaj.org> <https://ja-jp.facebook.com/sswaj/>



日本スクールソーシャルワーク協会秋季研修会

地域での虐待予防・防止の仕組みと 機関連携の在り方を考える

午後の部

広がる地域機関レベルでの

サインズ・オブ・セーフティ・アプローチ実践をヒントに



子どもを虐待から守るために重要なこととして、しばしば指摘されるのは「支援者の専門性」と「機関連携」です。また、児童虐待にまで至らないようにする「子育て支援」（＝予防）の充実が必要とされています。

さいたま市は専門性向上を目的に、児童相談所組織全体でサインズ・オブ・セーフティ・アプローチ（虐待対応のソーシャルワーク技術）を取り入れることで、職員で共通のこぼ・枠組みを持ち、チームワークが醸成されました。それらは職員一人一人の中に取り入れられ、その後、区の児童福祉・生活保護、教育委員会等、より市民生活に近い部署に異動・分散しました。そして、それぞれの現場で、これまでの経験とスキルを応用した実践の展開を見せ始めています。

本企画では、さいたま市におけるこれらの実践をヒントに、地域で子どもを虐待から守る、あるいは予防のための効果的な仕組みや機関連携のあり方について、参加者とともに考えたいと思います。

日時：2019年10月6日（日）13:00～16:30（受付12:30より）

場所：埼玉会館 ラウンジ 浦和駅下車西口より徒歩6分

《プログラム》

第1部：さいたま市の実践報告

- さいたま市とサインズ・オブ・セーフティ・アプローチ
さいたま市教育委員会 総合教育相談室 主査 中尾賢史氏
- 児童福祉担当部署での実践
見沼区支援課 主任 太田史樹氏/西区支援課 主事 菊池聖美氏
- 学校での実践
さいたま市スクールソーシャルワーカー 倉持美幸氏
さいたま市立中学校教諭
- 生活保護担当部署での実践
見沼区福祉課 主事 中村嘉孝氏

第2部：実践報告を受けて

- 児童相談所の立場から
さいたま市児童相談所 主任 児童福祉司 藤井政光氏
- 児童相談所をこれから開設する立場から
中野区子ども家庭支援センター 調整担当 田中淳一氏

第3部：参加型ワークショップ

「効果的な虐待予防・防止の仕組み・機関連携の在り方」
-さいたま市の取り組みを手がかりに-



☆お願い☆
本研修には実践報告が含まれます。当日の研修内容の詳細を本協会の許可なく拡散しないようお願い致します。



■ 研修会参加費 (当日受付にてお支払いください)

午前	午後
一般2,000円	一般2,000円
学生1,500円(社会人学生を除く)	学生1,500円(社会人学生を除く)
当会会員1,000円	当会会員1,000円
*「当会会員」とは、日本スクールソーシャルワーク協会の2019年度会員です。	

■ 申込み方法

「秋季研修会申込書」に必要事項をご記入の上、Fax、郵送、メールのいずれかでお送りください。

* Fax 03-3371-4840

* 郵送 〒169-0075 新宿区高田馬場4-18-12中村ビル3A

* メール sswaj-office@orion.ocn.ne.jp

注：件名は【秋季研修会申込み】とし、申込書の①～⑩についてご記入ください。

※ お申込み確認の返信や参加票等はお送りしません。当日直接会場等へお越し下さい。

※ 定員(80名)になり次第、受付を終了いたします。

※ お申込み後にキャンセルされる場合は、速やかにご連絡をお願いします。

日本SSW協会 2019年度 秋季研修会 申込書

① 申し込み 区分 (○印)	() 当会2019年度会員 会員No.		申込日： 月 日
	() 非会員 (一般)	() 非会員 (学生)	
②申し込み 研修	() 午前の部		() 午後の部
③フリガナ：		() ※当会会員：記入省略=住所等「登録」内容 と同じ	
④氏名：		⑤住所 〒	
⑥E-mail：		⑦電話番号：	⑧FAX番号：
⑨所属・職種・活動(学校名・学年)等：		⑩領収書：() 必要 ・ () 不要 宛名：	
備考：			

<入会のご案内> 特定非営利活動法人 日本スクールソーシャルワーク協会 (SSWAJ)
 年会費：8,000円(学生4,000円 ※学校名・専攻・学年等明記) / 4月～翌3月の年度制
 郵便振替口座に年会費をお振込みください。00150-4-351661 日本スクールソーシャルワーク協会